

サローネ国際バスルーム見本市 2018

International Bathroom Exhibition 2018

新しい快適ゾーン：デジタルとサステイナブル

4月17日から22日までロー・フィエラミラノで開催される隔年開催のバスルーム見本市は、ホール 22-24 の展示スペースは完売。エシカル、テクノロジー、リラクゼーションが融合した新製品をラインナップ！

第7回サローネ国際バスルーム見本市は、展示スペースを拡大、2万500㎡に225社が出展します。未だかつてない広い展示スペースに、シャワーボックス、サウナ、サニタリーウェアからラジエーター、コーティング、水栓、バスタブ、ジャグジーバスまで国内外のメーカーが最高のバスルーム製品を一堂に会します。

この隔年開催見本市では、お馴染みのトップ企業たちに加え、新規参入者たちが、コンセプトやフィロソフィー、企業の歴史を、ディスプレイを通して語りかけながら、展示品が来場者を魅了します。

2017年の輸出におけるデータも業界の注目度を裏付けています。FLA Eventi社（ミラノサローネの運営会社）の調べによると、2017年バスルーム家具の総生産高は26億7千万ユーロ/前年比0.8増、輸出高は12億7千万ユーロ/前年比1%増の伸びを見せています。

サローネ国際バスルーム見本市が披露する新しい製品は進化し続けています。バスルームには、実用性、機能性に増して、癒しとリラクゼーションが求められるようになり、感情への刺激を残しつつデジタル化し、同時にグリーン志向へ傾きつつあります。

企業はエコロジーを考慮し、環境汚染を減らす必要性を最も重要視しています。「エシカル」と「責任」が、業界の新しい流行語となっています。節水、省エネルギー、リサイクル可能な素材の使用、そして抗菌仕上げが洗剤の使用を削減し、必要な技術が既に導入され、業界はより良い未来と革新への投資を模索しています。

節水、節電においてスマート・シャワーヘッドや水栓だけでなく、オートメーションやデジタル・デバイスがバスルームの温度や音楽、カラーライトを調整します。最新のバスルームは、身体と精神のバランスを取り戻すための、セルフケアも行います。最新のスパのコンセプトを取り入れ、計算されたデザイン、素材、色彩、テクノロジー全てがリラクゼーションを提供します。

2018年2月7日 ミラノ